

玄海古道

登拝ガイドマップ



聖地湯殿へ参詣するために身支度を整え心の準備をする、姥沢小屋・装束場での様子が彷彿とされる昭和4年の貴重な写真です

↑谷折

出羽三山の総奥の院であった湯殿山は、東日本最大の聖地であり、江戸期の丑年御縁年には十五万人が参詣し、その大半は玄海古道を通ったという。玄海周辺の礎石や石組み等は往時を偲ばせてくれる。

混迷する時代に、先人達の信仰の道を登拝することで現代人に求められる強靱な心と体が甦生されることを期待し、また、聖地湯殿での魂の再生を願い、玄海古道の復興を祈願するものである。

民俗宗教学家 千歳 栄



聖地湯殿へ向かう祈りの道…

↑谷折

↑山折



★志津温泉へのアクセス

- ・山形駅から山形自動車道月山 IC 経由で約 60 分
- ・鶴岡駅から同自動車道湯殿山 IC 経由で約 60 分
- ・高速バスは 7/1～11/ 初旬、月山口と湯殿山口からご利用いただけます。お問い合わせは、山交バス案内センター (023-632-7272)

■ご案内

月山朝日ガイド協会 0237-74-5130

月山朝日観光協会 0237-74-4119

NPO 法人エコプロ 0237-75-2780

●企画・制作：玄海古道復興プロジェクト

月山志津温泉旅館組合、山形県立自然博物館、西川町、西川町教育委員会、株式会社千歳建設、東北芸術工科大学 共創デザイン室

写真提供：

志田正、細川剛、大泉ふく系、渡辺幸任、山形県立自然博物館、株式会社千歳建設

<登拝ガイドマップの折り方>

登拝ガイドマップは裏面にあります。以下の手順で折ると、一つの動作で簡単に開けるポケットサイズのマップになります。1) チラシ上端を AB を結ぶ線に合わせて折り返します。(上の写真の下端で谷折になります。) 2) AB を結ぶ線で山折し均等な三つ折にします。3) ご覧の面を表にした状態で中央の写真の右端を山折します。4) 同じく左端を谷折します。これで完成です。

↑A (山折)



かつての玄海折橋所は、礎石のみが現存する



平成 23 年 10 月、志津に建立された登拝記念碑

B↑